

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	らふたあかる			
○保護者評価実施期間	令和7年2月28日		～	令和7年3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31件	(回答者数)	19件
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日		～	令和7年 3月28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や個々の発達特性に応じた支援及び活動を実施している	子どもの主体性を大切にしながら戸外活動、室内活動の子ども自身による選択の機会を設けながら、必要に応じ臨機応変な個別対応を実施している。	職員の専門性の向上を図り、より専門的な(OT・PT職を活かす)支援も積極的に取り入れていきたい。
2	保護者支援に力を入れている	日頃より、送迎時やモニタリングの面談、電子連絡帳、公式LINEの活用を行いコミュニケーションの充実が図れる様、意識をしている。また、相談や話しやすい関係構築に努めている。	今後も保護者支援や子育て支援に関する理解を深めると共に関係機関との調整及び連携の充実を図っている。
3	職員の研修体制、メンタルサポートの充実を図っている	外部講師による、事例検討及びテーマ研修を実施。メンタルヘルスのサポート、その他職員の資質向上に向けた外部研修の参加も積極的に行っている。	今後も人材育成に力を入れると共に、OJTを導入し職員のサポート体制の充実を図りたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケア児の受け入れが難しい	人材不足、看護師の採用になかなか繋がらない。	引き続き、採用情報の提供及び職員の医療的ケア児に関する知識の向上。
2	それぞれの児童が年齢が上がるにつれ、ゆとりのある室内環境及び落ち着けるスペースが必要となっていると感じる	活動スペースの増設や活動を分ける等の工夫が必要だが、コストの課題があり。	必要に応じて補助金申請を行うと共に、余裕を持った職員体制を整える事が必要。(活動を分ける等、活動の幅を広げる為にも)
3			